

(監修: 労働条件・中小労働対策局)

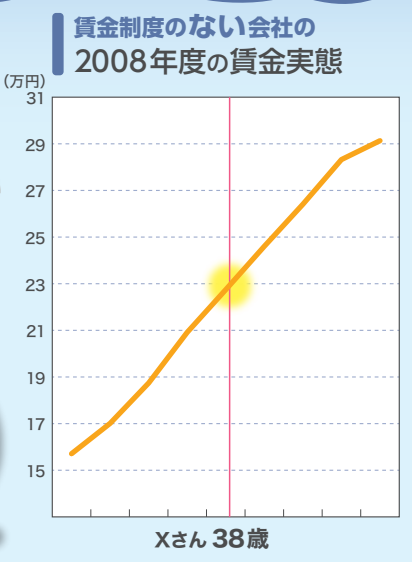
賃金制度がある❌ない❌どっちがハッピー!?

「賃金制度」が「ある」「ない」では、どのような違いがあるのでしょうか? 「制度があれば、来年、その翌年も賃金の水準が決まっています。安心!」…その通りですが、それだけではないのです。働く人にとっては、目標が明確で将来設計をきちんと立てることができます。モチベーションも上がり、役割と責任を感じて仕事に臨むことができ、そのことが企業の成長にもつながります。では、具体的に賃金制度の有無の違いを見てみましょう。



まず
こっちを

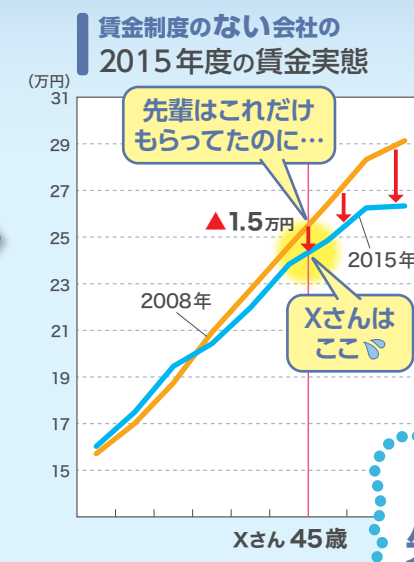
もしも賃金制度がなければ…



仕事を頑張れば、本当に賃金は上がるのかなあ…



7年後



45歳になったXさんは…

努力しても報われないんだ



この先不安

家のローンが…

子どもの学費が…

賃金制度がないので先輩の額に届かなかった…

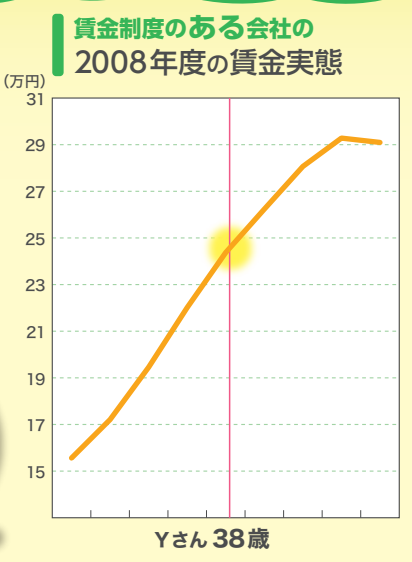
こんな会社見切ろうよ…

差が

制度の「ある」「ない」で格差はますます広がる

では次に
こっちを

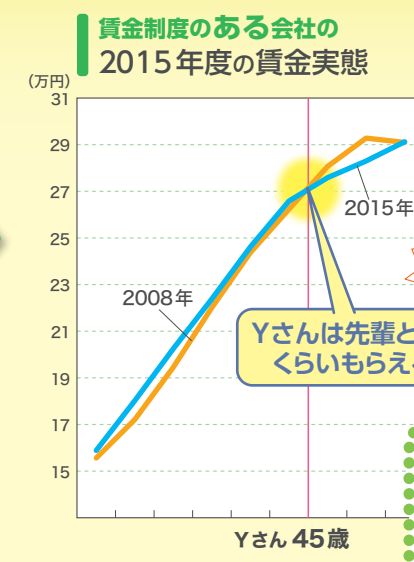
もしも賃金制度があれば…



将来いくらもらえるか分かって安心!



7年後



45歳になったYさんは…

良かった! これからも頑張るぞっ!



モチベーションUP!

賃金制度がしっかりあるので安心です!!

検証



さて、どっちがハッピーか一目瞭然ですね!!



役割と責任感じて仕事してます!



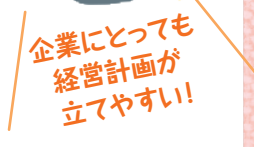
きちんと評価されてるから頑張るぞ!



目標が明確でモチベーションUP!



企業にとっても経営計画が立てやすい!!



結論



雇用が安定し、働く人も、企業も幸せです!!



このページは連合HPでも配信中! 皆さんもお使いください。